

農林水産省補助事業の受託

開花塾 令和4年度事業計画(案)

「農業人材確保・就農サポート体制確立支援」事業の中の「働きづらさを抱えた人たちへの支援事業」

昨年の令和3年秋ごろに、農水省に関わる知人からの要請で上記事業を受託しました。

ご承知の通り日本農業を支えている方たちの平均年齢は70才で後継者不足から「農業の曲がり角」とも言われています。

片や引きこもりは「8555問題」として取り沙汰されています。更に発達障害の故に就労に繋がらないケースも社会問題として取り上げられています。

国も看過ならぬことから「農福連携」として農林水産省と厚生労働省が支援に乗り出してきました。

喝破道場はこれらの問題を約40年以前から禅の手法を用いた坐禅・読経・食事・農作業などを通して自立の支援を行ってまいりました。

しかしながら、入塾期間を終えると大半の者は自宅に帰りますが、折角の訓練が就労に繋がらないのです。

自立塾での修行(訓練)が就職に繋がらないか、との思いはありましたが、職員不足もあって就労に誘うことが出来ずに現在に至りました。

今回の補助事業は、「引きこもり・発達障害のために働きづらさを抱えている人達を農業にいざなう事業で、その支援として年間750万円の補助費で運営するものです。

昨年度は約半年間足らずの事業で十分な活動は出来ませんでした。

しかしながら、補助金事業ですので農水省の審査に合格しなければ受託はできません。役員各位におかれましては喝破道場での事業「働きづらさを抱えている人達が農業で自立を!」をご吹聴のほどお願い申し上げます。